

怒りの葡萄 (1940)

THE GRAPES OF WRATH

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 129分
初公開日 1963/01/02
公開情報 昭映
リバイバル 1984/07 [I P]

【解説】

原作はピューリッツァ賞を受賞した、スタインベックの同名小説。殺人容疑で入獄していた主人公トム・ジョードは仮釈放で4年ぶりに故郷オクラホマの農場に戻るが、小作人として働いていた一家は既に凶作の土地を逃れさせたあとだった。叔父の家で家族と再会した彼は、みなで遥かカリフォルニアに行き、職を求める。そして、桃もぎで雇われた農場で賃金カットに反対したストが起き、首謀者ケイシー（J・キャラダイン）を殺した男をトムは殴り殺してしまう。一家で国営キャンプに潜んだが、彼を追う保安官が姿を現わし、トムはまた一人逃亡の旅に出る……。再会を信じ、彼を送り出す母の逞しい言葉で映画は締めくくられ、やるせない余韻を残す。母を演じたJ・ダーウェルはアカデミー助演賞を受けた。また、トムに扮したH・フォンダの“もの静かに不正に向かって闘う男”というパブリック・イメージはここで完成されたと言ってもいいだろう。30年代半ばの中西部の大飢饉を題材に、あからさまにニューディール政策の側に立って、アメリカ農民の詩を謳う、フォードの反骨のリアリズム。いつものユーモアは微塵もなく、真の逆境で生きる困難を切々と訴えている。フォードはオスカー監督賞に。

【クレジット】

監督	ジョン・フォード	John Ford
製作	ダリル・F・ザナック	Darryl F. Zanuck
原作	ジョン・スタインベック	John Steinbeck
脚本	ナナリー・ジョンソン	Nunnally Johnson
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	ヘンリー・フォンダ	Henry Fonda
	ジェーン・ダーウェル	Jane Darwell
	ジョン・キャラダイン	John Carradine
	チャーリー・グレープウィン	Charley Grapewin
	ドリス・ボードン	Dorris Bowdon
	ラッセル・シンプソン	Russell Simpson
	メエ・マーシュ	Mae Marsh
	ウォード・ボンド	Ward Bond
	フランシス・フォード	Francis Ford